

民間と文化財との関わり

行政の保護

適時の保護

保護の継続

民間の情熱

土地、家の声を聞く

土地、家に対して敬畏(敬意)を払う

周辺との調和

素材にこだわる

物を残し、技術を伝える

職人が育つ、地域が育つ

誇り、愛着

(1) 島根県指定文化財・阿部家に暮らす

(2) 伝統的建造物郡保存地区に暮らす

活用重視

豊かな暮らし

ていねいな暮らし

美しい暮らし

それぞれの時代の中で、変化しながら継承してゆく

(株)石見銀山生活文化研究所

所長・松場 登美

<本社>

景観に配慮した本社屋は、茅葺の鄙舎を入り口とし、社屋の大屋根は石州瓦の産地である水上町の登り窯で焼かれた瓦を葺いた



社屋の中は機能性優先とし、外観との大きなギャップに来客は驚かれる



社員駐車場は山の谷間を利用し、県道から車が見えないようにした

<本店>

弘化4年の庄屋、江戸末期のつなぎ屋、土蔵、昭和初期の妻入屋と異種の建物が連続する吉田家を、1987年に購入し改築する

改修・前



改修・後

店舗として活用の他、2Fのフリースペースはコンサートや作家の個展など開催



<群言堂>

旧川北家は来客のおもてなしの家とし、屋根を粉板葺きにて改修した
いっさいの文明を排除し、ローソクの灯と囲炉裏の火でもてなす

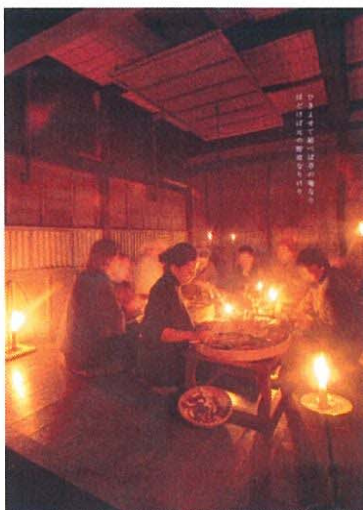
改修・前



改修・後



家の中から写した写真で、道路を舞台に
演奏をしている



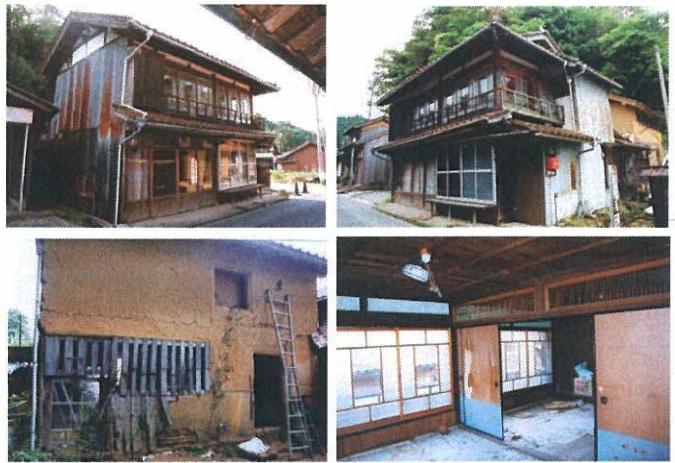
<新井家>

改修して社員寮として活用

改修・後



改修・前



<竹下家>

改修して社員寮として活用

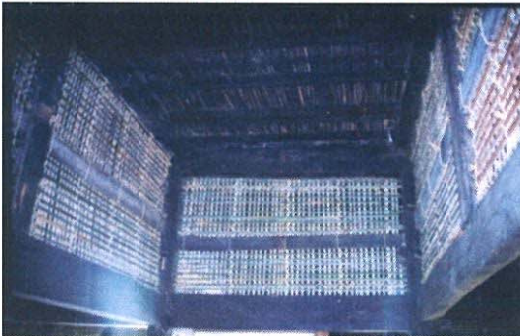
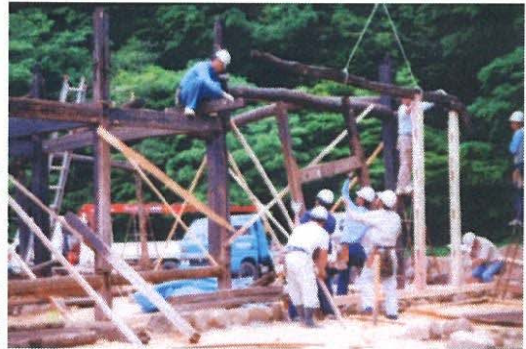
改修・後



改修・前



<旧梶谷家>
広島県甲山町、1747年創建の農家



甲山町で解体に関わった職人さんが、移築再建

<鄙舎> 1996年移築「鄙舎」と命名
移築後は通常社員の休憩所として利用しているが、結婚式、コンサート、学生合宿等、
各種イベントに活用している



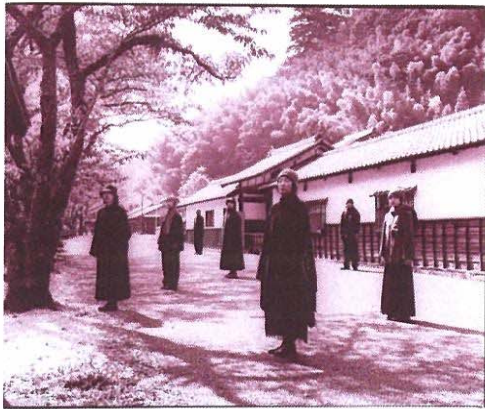
<元気ポスター>

1990年から始めた町民元気ポスターは、カレンダーとして各戸に配布している



<DM>

会社の営業用ダイレクトメールは、地元を背景に社員がモデルになって作成



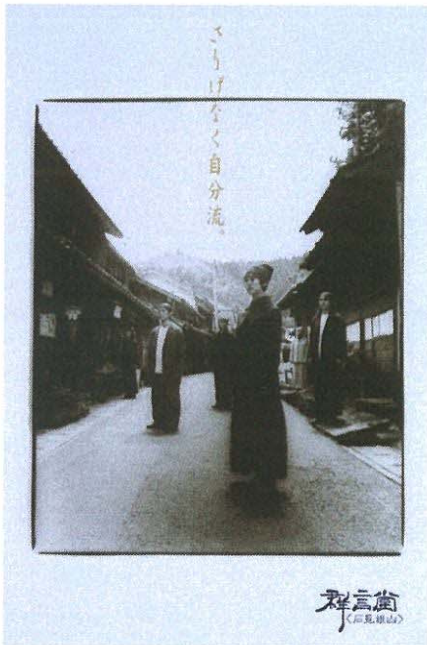
解言堂
石見県

あたたかくつつんでくれるもの。

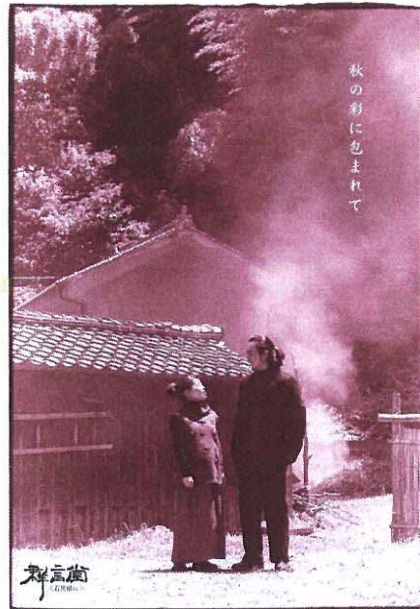
町並み



鄙舎



町並み



町並み



阿部家

兵庫県豊岡市竹野町須野谷

限界集落と言われる16軒の民家が残る須野谷で、地元出身者の富森氏が3年前から始めた「須野谷風まつり」に参加



16軒の各家々の前に、吉田正純・作の鉄羅漢様を配置した



森家家の庭園に吉田満寿美・作の作品を展示した 8